

希望みちる街・渋谷を実現します！

渋谷区議会議員 **岡 みちる**



新型コロナウイルス対策関係補正予算を議決！

渋谷区議会は5月に臨時会、6月に第二回定例会、7月に臨時会が開かれ、補正予算や条例等を議決しました。いずれも新型コロナウイルス感染症対策事業に関わるものが主となっています。

渋谷区の主な新型コロナウイルス感染症対策事業 (◇は補正予算額/1万円以下切捨)

区議会
NOW

子育て支援

区独自の経済的支援として、我が会派の要望した、児童育成手当支給対象のひとり親世帯に児童1人当たり1万円分のQUOカードの支給を実現(区負担1442万円)。妊婦面接受診者に対しては育児パッケージ事業として妊婦検診等の際のタクシー移動にも利用できる1万円分の商品券を配布した(2919万円/区負担289万円)。また、児童手当受給者には児童1人当たり1万円の臨時特別給付金を支給(1億5300万円)。児童扶養手当支給者や新型コロナの影響で家計急変し収入が減少した人(要申請)には、1世帯5万円、2子以降は1人当たり3万円の臨時特別給付金を支給する(9400万円)。

地域経済活性化

事業活動に新型コロナの影響を受けている中小企業者への独自の特別融資斡旋として、区が利子を補助する緊急経営支援特別資金(融資限度額2000万円以内・貸付期間7年以内)を実施。また、1000円以上の注文で500円の割引やクーポンが付与されるフードデリバリー等利用促進キャンペーンの第一弾を4月に、第二弾を8月に実施。さらに、区内の消費喚起と感染防止を目的に、区内対象店舗でキャッシュレス決済を使用して買い物をした場合、ポイント(還元率20%、1回当たり付与上限2000p、期間中付与上限5000p)が付与されるキャンペーンを10月実施予定(2億円)。なお、接待を伴う飲食店で複数の感染者が出た店舗に対して区独自の休業要請を行い、協力店舗に対し50万円の休業要請協力金を給付する。

感染拡大を防ぐ環境整備

感染拡大を未然に防ぐ環境整備として、我が会派が従来から要望していた非接触で発熱者を検出する温度測定精度の高いサーマルカメラが導入され、区立の全小中学校や5箇所の公共施設に順次設置。また、避難所の感染症対策のために必要な備蓄(マスク、消毒液、パーテーション等)を避難所や防災備蓄倉庫などに配備(5900万円)。さらに、渋谷区のPCRセンターとして地域・外来検査センターを設置し、渋谷区医師との連携により更なる感染拡大に備え、診療・検査体制を拡充(2600万円)。



各種給付金事業

特別定額給付金では全国民に一律10万円給付(234億2216万円)。住宅確保給付金は対象者が拡大され、新型コロナの影響による収入減少で住居を失う恐れのある方々に対し、原則3ヶ月、最大9か月分の家賃相当額を家主へ支給(2億8640万円/区負担7160万円)。なお、外出自粛要請や緊急事態宣言の影響により経営に深刻な打撃を受けている店舗に対し、テナント賃料の支払猶予・減免・賃借人への家賃補助等の救済措置を行うテナント賃料支援制度の早急な創設を求める意見書を国に提出した。

ご相談・ご要望などありましたら、岡みちるにお気軽に御連絡ください！

岡みちる事務所 連絡先 〒151-0066 渋谷区西原 1-12-5
mail: oka@shibuya-jiimin.jp ☎050-5361-8129 Fax050-5805-6939

討議資料

解説!

コロナ禍では専門用語やカタカナ語に戸惑った方も多いのでは？
これからの渋谷区政の注目キーワードを解説します(^_-)☆

知っ得、なっ得
渋谷学…



みちるの渋谷学

CHECK!

「デジタル・ディバイド」 = 情報格差

情報伝達技術であるICTを使いこなせる人とそうでない人の間で二極化が進み、格差社会に繋がる現象のこと。デジタル化が進む渋谷区でも顕在化し、経済格差のみならず有事の危機になりつつあります。実際、新型コロナ対策の情報発信はインターネットが主で、フードデリバリー促進キャンペーンもLINEが活用できないと使えません。昨年の台風19号の接近に伴う避難所開設時は防災無線が暴風雨で聞こえ辛い中、情報源は防災アプリ等しかなく、避難者の多くは若者でした。

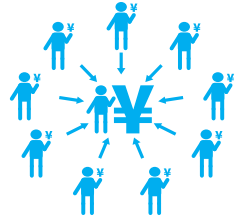
そこで第二回定例会で問題提起し、高齢者への一人一台のタブレット配布やハチコウ大学等での講座開設が進められることになりました。今後も各地域の区民センター等に常駐の専門相談員を配置するなど、誰も取り残されない社会を目指し、きめ細やかな取組を提言していきます。



「クラウド・ファンディング」 = 皆様からの資金調達

「crowd=群衆」と「funding=資金調達」を組み合わせた造語で、インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達すること。アイデアや思いを持つ人は誰でも“起案者”として発信でき、それに共感し応援したいと思った人は誰でも“支援者”として支援できます。日本では東日本大震災が普及の契機となりましたが、支援したお金の使われ方が明確であり、起案者・支援者の双方にとって手軽であることから様々な分野で活用されています。

本区では新型コロナで打撃を受けた区内店舗やエンタメ産業、ファッション産業支援のため、クラウドファンディング支援事業を実施し、渋谷区からも1億円の支援金を計上します。目標金額の設定や具体的な使い道がまだ明確でなく、産業支援に時間がかかりすぎることから、区が計上している1億円で直接支援したほうがいいのかなど、様々な厳しい意見が寄せられました。



コロナ共存社会の中で

2020年夏は本来ならオリンピックに沸く年になるはずでした。それが一転、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、国が緊急事態宣言を発令。長期間にわたる外出自粛や休業要請に多くの方々協力して下さったおかげで、社会経済活動は段階的に再開され始めています。とはいえ、重症患者は減少していても日々拡大する感染者数に長期化は確定的です。

渋谷区議会では5月の臨時会、6月の第二定例会、7月の臨時会を開き、新型コロナウイルス感染症対策事業を主に講じてきました。コロナ禍で明らかになった有事における高齢者を中心としたデジタル・ディバイドは大きな課題です。今後も皆様の生活と仕事を守ることを最優先に、スピード感を重視した支援策を提言していきます。



岡みちる

Michiru's Profile プロフィール

2019年統一地方選挙で渋谷区議会議員に初出馬し初当選。自治権確立委員会 副委員長、文教委員会 委員。

マスコミ業界で勤務後、東京都庁に事務1類職(倍率約200倍/4位)として入庁し、在職中に知事表彰を受賞。東京大学大学院ではバックパッカーとして43カ国を訪れた経験から途上国の貧困問題のCSVによる解決をテーマに修士号を取得。中学校・高校教諭1種免許、学芸員、書道八段、東京シティガイド検定、弓道初段、等



公式HP <http://oka.shibuya-jimin.com>

防災行政無線放送が聞こえない!

電話で聞ける《防災行政無線》 ☎03-3498-7211~3

渋谷区では区内84カ所に設置した放送塔で防災行政無線を使用し、災害発生時の避難勧告など区役所からの重要な情報を放送しています。放送内容は電話で確認できますのでご利用ください。